

平成 25 年度 国有林モニター会議

平成 25 年 10 月 26 日（土曜日）に、国有林モニター会議を実施しました。

国有林モニター会議は、勉強会や意見交換会を通じて、国有林モニターの皆様に国有林の取組をご理解いただくとともに、国有林をより身近な存在として認識していただくことを目的に、平成 16 年度より毎年開催しています。

今年度は、国有林モニターの方々に事前に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、国有林モニター会議を宮崎森林管理署管内にある、国内最大規模の原生的な照葉樹林が残る綾の照葉樹林で実施し、その保護・復元活動の取り組みについて、ご理解いただくこととなりました。

● 開催概要

日時：平成 25 年 10 月 26 日（土曜日）9 時 15 分～16 時 30 分

開催場所：宮崎県東諸県郡綾町

出席者：国有林モニター 19 名 他九州森林管理局、宮崎森林管理署職員

会議内容：1. 綾の照葉樹林プロジェクト概要説明

2. 綾の照葉樹林プロジェクト及び間伐箇所の現地視察

3. 意見交換会

1. 綾の照葉樹林プロジェクト概要説明

午前中は綾の照葉樹林文化館において、宮崎森林管理署より、宮崎森林管理署の概要説明、人工林・二次林を照葉樹林に復元する「綾の照葉樹林プロジェクト」の概要の説明を行いました。



宮崎森林管理署職員より、資料をプロジェクターで投影し説明

2. 綾の照葉樹林プロジェクト及び間伐箇所での現地視察

午後からは「森林セラピー川中自然公園」まで移動し、2班に分かれて、プロジェクトで間伐したスギの人工林、イチイガシなどで構成される照葉樹林、森林鉄道の枕木を生産していた旧営林署製材所跡の現地視察を行いました。これまで綾の照葉樹林を訪れたことがないモニターの方は、イチイガシの巨木に感心したり、製材所跡に関して説明を行う職員の話に興味深げに聞き入っていました。



宮崎森林管理署職員より、照葉樹林にある樹種の説明



人工林を間伐して照葉樹林への復元事業を行っている箇所の現地視察

3. 意見交換会

現地視察の後は、照葉樹林文化館まで戻り、綾の照葉大吊橋前で記念撮影を行った後、全体を通しての質疑応答及び意見交換会を行いました。

モニターの方からは「照葉樹林に復元する目的は一体なんなのか」「間伐によって、下草を生やすことで人工林の保水能力は高められるのか」「間伐材にはどのような利用方法があるのか」「保護林制度と保安林制度の違いは」など、プロジェクトに関係する事項の他、質問者自らが取り組む動植物の保護活動に関する国有林への要望も出されました。

参加者からいただいた、貴重な意見や感想は、今後の国有林野の管理経営に活かしていくこととしています。



綾の照葉大吊橋前で記念撮影



限られた時間ではありましたが、活発な意見交換となりました